

目的・方法 われわれは家政学研究の基本的認識を人間の再生産論研究においているが、もとより生命の再生産論や学内の再生産論を包摂しにそのことで、矛盾したり対立したりする理論であってはほしくないと考えている。このように理論を構築するため、今回の発表は家計簿を取上げてみた。家計簿は家庭を経済面で支えている指標であり、その意味で重要である。その家計簿を従来のフォームとは異なる行列形式のフォームにとらえようである。

結果 家計簿を行列形式という新しいフォームでとらえることにより、一面印ではあるが、家計簿からかに家庭の再生産が図式化され、これを展開することにより人間の再生産論研究の足がかりが可能になると考えられる。